

## 令和4(2022)年度国内概況

### ◆ 個人消費増から経済回復が続くもコロナ禍以前の水準には及ばず。企業物価上昇率は石油危機以来。

2022年度の実質GDPは前年度比+1.4%の549兆円であった。おもに個人消費増が成長をけん引したが、コロナ禍以前の2019年度の水準にはいまだ及ばない。鉱工業生産指数(2020=100)は同-0.3%の104.9であり、部材供給不足が長引いたことに加え、ウクライナ危機に伴う国内外経済減速が足かせとなった。

物価は資源価格の上昇と円安の影響を受け著しく上昇した。企業物価指数は同9.4%増、消費者物価指数は同3.2%増で、とりわけ企業物価指数は第2次石油危機影響下の1980年以来最大の伸び率であった。企業物価は年度後半で横ばいになった一方、消費者物価は年度後半も上昇が続いた。

(遠藤 聖也)

### ◆ 海外の景気悪化で主要素材の生産量、電力需要が減少、一次エネルギー国内供給は前年度比で減少

一次エネルギー国内供給は、前年度比3.1%減の416.7Mtoeとなった。内訳をみると、石炭は、電力燃料用需要が減少し、同3.6%減となった。石油は、LNG価格の高騰で火力発電燃料の重油需要が増加、また、人の動きが回復して交通用燃料需要は増加したものの、中国経済の低迷などにより、誘導品(プラスチックや合成繊維の原料など)の需要の減少に伴いナフサ需要が減少し、同1.3%減となった。ガスは、発電用燃料需要が減少し、同5.0%減となった。原子力は、発電所の定期点検が多く、前年度に比べ設備利用率が低下し、同20.8%減となった。新エネルギー等はFITにより太陽光やバイオマスの導入量が増加し、同5.8%増となった。化石燃料依存度は87.4%となり、前年度より0.1ポイント上昇した。

エネルギー起源の二酸化炭素排出量は、同2.7%減の988Mtとなった。(恩田 知代子)

### ◆ 電気料金上昇や生産活動鈍化を受け、全電圧種別で電力需要が減少

電力調査統計(2023年2月実績まで公表)による販売電力量(2022年4月~2023年2月までの11か月累計)は、前年同期比1.0%減となり、全電圧種別で減少した。電灯は同1.7%減、低圧電力は同0.8%減となった。電気料金の上昇に伴う需要家の使用控えなどが要因とみられる。高圧は同3.8%減、特別高圧は同2.6%減となった。電気料金の上昇や節電要請に伴う需要家の使用控えや、景気回復に減速感があるなかで生産活動が鈍化した影響があったとみられる。

発電電力量(2022年4月~2023年2月までの11か月累計)は、同1.9%減少となった。定期点検やトラブル停止などにより、高浜4号機や玄海3・4号機の設備利用率が低下したことで、原子力発電量が同24.7%減となった。これに伴い、全体の需要減影響がある中でも、火力による発電量の

減少は同0.9%減にとどまった。一方で、固定価格買取制度等による導入促進により、太陽光など再エネの増加が続いている。(森本 大樹)

◆ 燃料油生産量は回復傾向に、国内販売量は前年度比で減少

2022年度の燃料油計の生産量は前年度比5.7%で1億5,008万klとなり、新型コロナウイルスの感染拡大による影響から徐々に回復している。燃料油別にみると、ジェット燃料油は同28.1%(241万kl)、軽油は同7.8%(283万kl)、B・C重油は同11.5%(182万kl)を中心に大きく増加した。

国内販売は前年度比1.9%減で1億5,083万klとなった。燃料油別にみると、ナフサは、エチレンプラントの大規模定期修理が多かったことから需要が減少し、同8.2%(367万kl)減となり、販売量全体の減少に特に寄与している。また、灯油は、前年度より気温が高く暖房需要が減少したことで、同9.4%(127万kl)減少した。一方、コロナ禍の行動制限緩和等による影響で航空旅客需要が回復傾向にあり、ジェット燃料油は同21.6%(71万kl)増加した。(中野 優人)

◆ 中東依存度は95.2%で過去最高に

2022年度の原油輸入量は前年度比5.1%増の1億5,656万kl、うち中東からの輸入量は同8.2%増の1億4,906klとなり、中東依存度は前年度から2.7ポイント増の95.2%で過去最高となった。ロシア・ウクライナ情勢の影響で2022年6月からロシア産原油の禁輸措置が継続されていることで、ロシアからの輸入量は前年度比88.5%減の62万klとなり、中東依存度が上昇する一因となっている。

燃料油輸入は前年度比11.2%減の3,286万klとなった。その一方で、燃料油輸出は前年度比22.6%増の2,935万klとなった。燃料別の燃料油輸出を見ると、A重油を除くすべての燃料が前年度比で増加した。(中野 優人)

◆ 都市ガス需要は、前年度示した新型コロナウイルス感染症禍からの経済回復効果などを相当打ち消すほど減少した。

2022年度の都市ガス販売量は振るわなかった。新型コロナウイルス禍前の2019年度を再び下回り、前年度比では-2.2%と2年ぶりに減少した。工業用が経済の弱含みにより減少に転じたことに加え、暖冬・猛暑と在宅率低下により家庭用が同-5.8%と4年ぶりの減少率で落ち込んだことが影響した。

2022年度のLNG輸入量は同-1.3%と6年連続で減少した。水準としては70,547千tと、東日本大震災の影響が本格的に始まった2011年度以降で最少となった。足元にかけては年換算70,000千t割れのペースが続いている。その中でも、長期契約が切れたカタールからは同-4,136万tの2,922万t

となり、東日本大震災後の原子力発電停止への対応で輸入が急増した2014年度の5分の1以下にまで縮小した。これにより、輸入相手国は、1位オーストラリア、2位マレーシアは変わらなかったものの、ロシア、米国が1つずつ順位を上げそれぞれ3位、4位となった。これら4か国で全体の4分の3を占めた。(柳澤 明)

お問い合わせ: [report@tky.ieej.or.jp](mailto:report@tky.ieej.or.jp)

経済動向、エネルギー需給の推移（年度ベース）

	2018F	2019F	2020F	2021F	2022F	伸び率(%)					
						2018F	2019F	2020F	2021F	2022F	
主要経済指標等	実質GDP(2015年基準10億円)	554,546	550,138	527,376	541,037	548,537	0.2	-0.8	-4.1	2.6	1.4
	名目GDP(10億円)	556,571	556,836	537,573	550,664	561,884	0.2	0.0	-3.5	2.4	2.0
	鉱工業生産指数(2020年=100)	114.2	110.2	99.7	105.2	104.9	-0.1	-3.5	-9.5	5.5	-0.3
	素材系生産量(千t)										
	粗鋼	102,887	98,426	82,786	95,637	87,837	-1.9	-4.3	-15.9	15.5	-8.2
	エチレン	6,186	6,282	6,043	6,102	5,482	-4.2	1.5	-3.8	1.0	-10.2
	セメント	55,699	53,009	49,826	50,353	47,538	1.4	-4.8	-6.0	1.1	-5.6
	紙・板紙	26,031	25,032	22,650	24,013	23,296	-1.4	-3.8	-9.5	6.0	-3.0
	国内企業物価指数(2020年=100)	101.2	101.3	99.9	107.0	117.1	2.2	0.1	-1.5	7.1	9.4
	消費者物価指数(2020年=100)	99.6	100.1	99.9	100.0	103.2	0.7	0.5	-0.2	0.1	3.2
為替相場(日銀)(¥/\$)	110.88	108.68	106.04	112.36	135.40	0.1	-2.0	-2.4	6.0	20.5	
暖房度日(度日)	865	818	863	966	850	-19.2	-5.5	5.6	11.8	-11.9	
冷房度日(度日)	489	439	442	407	506	23.2	-10.2	0.6	-8.0	24.4	
一次エネルギー	国内供給(ktoe)	455,318	444,717	415,480	430,129	416,712	-2.0	-2.3	-6.6	3.5	-3.1
	石炭	121,476	120,404	110,724	118,864	114,532	-1.8	-0.9	-8.0	7.4	-3.6
	石油	176,195	170,376	155,367	160,036	157,892	-5.0	-3.3	-8.8	3.0	-1.3
	原油(国産を含む)	161,531	158,933	127,422	136,415	143,237	-4.9	-1.6	-19.8	7.1	5.0
	石油製品	14,664	11,443	27,945	23,621	14,655	-6.1	-22.0	144.2	-15.5	-38.0
	ガス(天然ガス、LNG)	106,720	102,382	102,514	96,552	91,751	-4.1	-4.1	0.1	-5.8	-5.0
	国産天然ガス	2,726	2,465	2,363	2,293	2,056	-10.9	-9.6	-4.1	-3.0	-10.3
	LNG	103,994	99,917	100,151	94,259	89,695	-3.9	-3.9	0.2	-5.9	-4.8
	水力	16,658	16,478	16,218	16,331	15,811	-4.7	-1.1	-1.6	0.7	-3.2
	原子力	13,280	13,044	7,926	14,481	11,468	94.5	-1.8	-39.2	82.7	-20.8
新エネルギー等	20,988	22,032	22,731	23,865	25,259	4.7	5.0	3.2	5.0	5.8	
CO <sub>2</sub> 排出量(Mt-CO <sub>2</sub> )	1,085.5	1,055.5	983.3	1,014.6	987.7	-4.0	-2.8	-6.8	3.2	-2.7	
電力需給	発電電力量(百万kWh)※ <sup>3</sup>	1,170,559	1,222,367	1,229,766	1,289,632	1,160,414	12.7	4.4	0.6	4.9	-1.9
	水力	87,226	86,772	87,270	89,819	80,697	-3.3	-0.5	0.6	2.9	-3.0
	火力	739,864	712,013	716,024	708,493	641,622	-6.7	-3.8	0.6	-1.1	-0.9
	原子力	62,109	61,035	37,011	67,767	47,999	98.6	-1.7	-39.4	83.1	-24.7
	新エネルギー等	78,823	88,659	103,293	113,227	111,448	13.6	12.5	16.5	9.6	8.4
	太陽光	65,228	73,570	84,834	94,525	94,530	15.2	12.8	15.3	11.4	9.9
	その他	202,538	273,888	286,167	310,667	278,649	268.0	35.2	4.5	8.6	-2.5
	燃料消費※ <sup>3</sup>										
	石炭(千t)	110,560	108,542	105,882	108,868	100,373	-3.9	-1.8	-2.5	2.8	0.8
	原油(千kl)	587	204	305	230	178	-63.0	-65.3	49.8	-24.6	-17.7
重油(千kl)	4,245	2,938	3,119	4,696	5,040	-33.0	-30.8	6.1	50.5	22.7	
LNG(千t)	49,666	46,601	47,067	41,852	36,127	-6.2	-6.2	1.0	-11.1	-5.9	
都市ガス(千m <sup>3</sup> )	4,485	4,118	5,256	5,362	5,265	3.7	-8.2	27.6	2.0	7.9	
販売電力量(百万kWh)※ <sup>3</sup>	896,250	877,160	863,204	881,517	796,059	-2.0	-2.1	-1.6	2.1	-1.0	
低圧	307,123	302,096	313,375	313,004	277,933	-3.2	-1.6	3.7	-0.1	-1.6	
電灯	270,314	266,652	277,978	278,146	246,462	-3.2	-1.4	4.2	0.1	-1.7	
電力	36,809	35,417	35,397	34,857	31,471	-3.5	-3.8	-0.1	-1.5	-0.8	
高圧	306,841	301,812	290,264	296,338	261,513	-0.9	-1.6	-3.8	2.1	-3.8	
特別高圧	236,344	229,919	214,917	225,396	201,355	1.1	-2.7	-6.5	4.9	-2.6	
電力需要(百万kWh)※ <sup>1</sup>	898,153	879,503	867,272	885,278	870,444	-0.2	-2.1	-1.4	2.1	-1.7	
都市ガス販売	都市ガス販売量(万m <sup>3</sup> )※ <sup>2</sup>	41,576	40,420	39,511	41,149	40,240	-2.0	-2.8	-2.3	4.1	-2.2
	家庭用	9,244	9,376	10,016	9,914	9,340	-6.4	1.4	6.8	-1.0	-5.8
	商業用	4,257	4,160	3,652	3,703	3,822	-2.4	-2.3	-12.2	1.4	3.2
	工業用	25,029	23,833	22,758	24,373	23,917	0.6	-4.8	-4.5	7.1	-1.9
	その他用	3,045	3,051	3,085	3,159	3,160	-7.8	0.2	1.1	2.4	0.0
石油製品販売	燃料油販売	167,746	161,920	151,953	153,489	150,825	-4.0	-3.5	-6.2	1.0	-1.7
	ガソリン(千kl)	50,604	49,304	45,524	44,509	44,774	-2.4	-2.6	-7.7	-2.2	0.6
	ナフサ(千kl)	43,910	42,550	40,323	41,660	38,232	-2.6	-3.1	-5.2	3.3	-8.2
	ジェット燃料油(千kl)	4,972	5,151	2,733	3,313	4,027	-0.6	3.6	-46.9	21.2	21.6
	灯油(千kl)	14,498	13,627	14,498	13,518	12,249	-12.9	-6.0	6.4	-6.8	-9.4
	軽油(千kl)	33,773	33,754	32,027	32,075	31,665	-0.1	-0.1	-5.1	0.2	-1.3
	A重油(千kl)	11,070	10,156	10,226	10,135	10,421	-3.8	-8.3	0.7	-0.9	2.8
	B/C重油(千kl)	8,836	7,378	6,622	8,279	9,456	-18.5	-16.5	-10.2	25.0	14.2
	うち電力向け(千kl)	4,184	2,663	2,584	4,388	n.a.	-32.7	-36.4	-2.9	69.8	n.a.
	LPG(千t)	11,803	10,577	10,334	10,609	12,745	-5.6	-10.4	-2.3	2.7	20.1
需給	輸入量(千kl)	177,043	173,044	136,463	148,904	156,563	-4.3	-2.3	-21.1	9.1	5.1
	中東依存度(%)	88.3	89.6	92.0	92.5	95.2	[1.0]	[1.3]	[2.5]	[0.5]	[2.7]
	原油処理量(千kl)	176,651	173,951	139,268	147,485	156,238	-4.1	-1.5	-19.9	5.9	5.9
エネルギー価格	通関レート(¥/\$)	110.63	108.78	106.01	111.93	135.02	-0.4	-1.7	-2.5	5.6	20.6
	原油価格(輸入CIF,\$/bbl)	72.24	67.80	43.29	77.44	102.69	26.7	-6.2	-36.1	78.9	32.6
	LNG価格(輸入CIF,\$/t)	545.62	492.07	389.19	625.82	933.56	24.7	-9.8	-20.9	60.8	49.2
	一般炭価格(輸入CIF,\$/t)	120.64	101.29	79.76	161.85	360.44	17.5	-16.0	-21.3	102.9	122.7
	化石燃料輸入額(億円)	190,944	165,655	105,890	198,848	351,926	17.5	-13.2	-36.1	87.8	77.0

注:伸び率は前年度比、[ ]内は前年度差。※<sup>1</sup>電力広域的運営推進機関が発表する流通需要。※<sup>2</sup>都市ガス販売量は1m<sup>3</sup>=41.8605MJ換算  
※<sup>3</sup>最新年度は、4月から翌年2月までの11か月累計値、伸び率は前年同期比。